

# 若手先生の 確かな実践に **ワクワク!!** Vol.3

コーディネイター：平野次郎（筑波大学附属小学校教諭）

平野次郎先生が指導する、若手先生の研究会「音楽授業ビギナーズ」のメンバーが、授業研究の成果を発表します！

「少しでも音楽科の授業を良くしたい！」と真剣に考え、仲間とともに研鑽に励んできた若手先生の視点には、日々の授業づくりに活かせる新鮮なヒントもいっぱい！  
そして各授業に対する平野先生のアドバイスにも、ぜひご注目ください！

2024年 **1月8日** (月・祝)  
**19:30-21:00** (19:20 受付開始)

Zoomによるオンラインセミナー形式  
アーカイブ配信付き (配信期間：1/14～1/21)

参加費 **1000円**

★「学習指導要領と仲良くなろう Season4」3回通し券をご購入の方には、本セミナーに無料でご参加いただけます！  
(詳細は申込ページでご確認ください)

お申込み

右のQRコードより、「teket」にてお申込みください

★お申込み・Zoom でのご参加にあたっては、留意事項がいくつかあります。  
詳細は右記 teket のページでご確認ください。

受付締切

開催当日までお申込みいただけます！（アーカイブも視聴最終日 1/21 まで受付）

発表1

谷口佳史先生（東京都）

ねらいを明確にした鑑賞の授業づくりを目指して

教材曲：『ファラドール』（4年）

鑑賞の授業で、子どもたちが「どんな曲だろう」「もっと聴いてみたい！」とワクワクしながら聴き深めてほしいと思っています。  
ねらいの焦点化や、発問、手立ての工夫について考えたことをご紹介します。

発表2

田中摩耶先生（東京都）

子どもたちの気付きや思いを歌声に

教材曲：『さくらさくら』（4年）、『Believe』（5年）、  
『地球星歌～笑顔のために～』（6年）

楽譜や歌詞から曲の特徴やよさに気付き、どのように歌いたい自分なりの思いをもつこと。そしてその思いをどう歌声で表現していくのか。毎時間の取組や手立て、有効だった言葉がけをご紹介します。

発表3

岡松亮先生（群馬県）+ 平野先生

子どもにとっても、教師にとっても、とってもいいことがある「学びのふり返し」（小学校実践・中学校実践から）

毎時間の学習のふり返しや題材ごとのふり返しは、どのような意味や方法で行っているのでしょうか。

ふり返しにはいくつかの意味があると考えます。形式的にならず、子どもにとっても、教師にとっても意味や価値がある「学びのふり返し」（学習状況の把握など）について、小中学校の実践から、デジタルとアナログのよさや特性をいかした方法についてをご紹介します。

